

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整(改修)

2節 下地調整

7.2.1 施工一般

塗替えて、表 7.2.1 から表 7.2.7 までのRB種の場合の既存塗膜の除去範囲は、特記による。
特記がなければ、劣化部分は除去し、活膜部分は残す。

7.2.5 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整は表7.2.4により、種別は**特記**による。
特記がなければRB種とする。

表7.2.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

| 工 程 | 種 別 | | | 塗 料 そ の 他 | | | 面の処理 |
|------------|-----|-----|-----|-------------|--------------------|-----|--|
| | RA種 | RB種 | RC種 | 規格番号 | 規格名称 | 種 類 | |
| 1 既存塗膜の除去 | ○ | — | — | | — | — | ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。 |
| | — | ○ | — | | — | — | ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分を除去し活膜は残す。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | ○ | ○ | ○ | | — | — | 素地を傷つけないようにワイヤーブラシ等により、除去する。 |
| 3 ひび割れ部の補修 | ○ | ○ | — | | — | — | 4章[外壁改修工事]によるひび割れ部の補修は 特記 による。 |
| 4 吸込み止め | ○ | ○ | — | JIS K 5663 | 合成樹脂 エマルジョンシーラー | — | 既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。 |
| 5 穴埋め・パテかい | ○ | ○ | — | JIS A 6916 | 建築用下地調整塗材 | C-1 | ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する |
| | | | | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 耐水形 | |
| 6 研磨紙刷り | ○ | ○ | — | 研磨紙P120～220 | | | 乾燥後、表面を平らに研磨する |
| | — | — | ○ | 研磨紙P240～320 | | | |
| 7 パテしごき | ○ | — | — | JIS A 6916 | 建築用下地調整塗材 | C-1 | 全面をしごき取り、平滑にする |
| | | | | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 耐水形 | |
| 8 研磨紙刷り | ○ | — | — | 研磨紙P120～220 | | | 乾燥後、全面を平らに研磨する |

(注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程4の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。

2.合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。